

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- a. かねて、沖縄商店に販売を委託してあった商品（仕入原価 ¥826,000 発送諸掛 ¥14,000）について、同店から右の売上計算書とともに手取金を小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- b. 鹿児島商店に月末到着の予定で商品 ¥2,000,000 を注文していたが、本日、同店が取り組んだ荷が替 ¥1,600,000 を取引銀行から呈示されたので、これを引き受け、船荷証券を受け取った。なお、残額は掛けとした。
- c. 長崎商会の本店は、支店に送付した商品のうちに品違いがあったので ¥49,000（原価）の返品を受けた。（本店の仕訳）
- d. かねて、商品代金として熊本商店から裏書譲渡されていた約束手形が不渡りとなり、手形金額 ¥700,000 と償還請求の諸費用 ¥3,000 をあわせて償還請求していたが、本日、請求金額と期日以後の利息 ¥5,000 を現金で受け取った。
- e. 宮崎産業株式会社は、決算の結果、当期純利益 ¥1,740,000 を計上した。
- f. 佐賀商事株式会社は、次の条件で発行している社債について、半年分の利息を小切手を振り出して支払った。
- | | | | | | | |
|------|------|-------------|------|-----|-----|-----|
| 発行条件 | 額面総額 | ¥60,000,000 | 利率 | 年2% | 利払い | 年2回 |
| | 払込金額 | @¥98.50 | 償還期限 | 10年 | | |
- g. 大分商事株式会社は、決算にあたり、当期の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,510,000 を計上した。ただし、仮払法人税等勘定の残高が ¥680,000 ある。

売上計算書					
売上高	掛	諸			¥1,200,000
保	管	料	¥8,200		
雑		費	5,800		
手	数	料	60,000		
差引手取金				74,000	¥1,126,000

2

次の取引を特殊仕訳帳としての仕入帳に記入し、総勘定元帳と買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
iii すでに記入してある取引も転記すること。
iv 総勘定元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
v ほかに特殊仕訳帳として、当座預金出納帳・売上帳を用いている。

取引

- 1/月20日 高知商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
- | | | | |
|-----|------|-------|----------|
| A 品 | 600個 | @¥700 | ¥420,000 |
|-----|------|-------|----------|
- 2/日 高知商店から仕入れた上記商品について、次のとおり値引きを受けた。
- | | | | |
|-----|------|------|--------|
| A 品 | 100個 | @¥50 | ¥5,000 |
|-----|------|------|--------|
- 26日 徳島商店から次の商品を仕入れ、代金は約束手形#6を振り出して支払った。
- | | | | |
|-----|------|-------|----------|
| B 品 | 380個 | @¥400 | ¥152,000 |
|-----|------|-------|----------|

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 福岡商店（個人企業）の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 売上高 b. 期首の買掛金

資本金		資料	
12/31 引出金	20,000	1/1 前期繰越()	
〃 次期繰越()		6/30 現金	120,000
		12/31 損益	350,000
			()

資料		i 資産および負債	
		(期首)	(期末)
現金	¥1,109,000	現金	¥1,260,000
売掛金	1,451,000	売掛金	1,500,000
商品	720,000	商品	860,000
買掛金		買掛金	1,470,000
		ii 期間中の収益および費用	
		売上高	¥
		売上原価	2,990,000
		営業費	1,040,000

- (2) 愛媛商店（個人企業）の本店および支店の損益計算書と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。ただし、未達事項整理前の本店における支店勘定の残高は ¥1,070,000（借方）、支店における本店勘定の残高は ¥630,000（貸方）である。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 本支店合併の期末商品棚卸高 c. 本支店合併の当期純利益

本店 損益計算書			
平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	710,000	売上高	8,050,000
仕入高	5,790,000	期末商品棚卸高	()
売上総利益	()		()
給料	1,340,000	売上総利益	()
旅費	245,000	受取手数料	61,000
減価償却費	103,000		
雑費	32,000		
支払利息	110,000		
当期純利益	521,000		
	2,351,000		2,351,000

支店 損益計算書			
平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	334,000	売上高	3,120,000
仕入高	2,360,000	期末商品棚卸高	282,000
売上総利益	708,000		
	3,402,000		3,402,000
給料	550,000	売上総利益	708,000
旅費	27,000	受取手数料	50,000
減価償却費	43,000		
雑費	18,000		
支払利息	39,000		
当期純利益	81,000		
	758,000		758,000

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥180,000（原価）が、支店に未達である。
② 支店から本店に送付した現金 ¥220,000 が、本店に未達である。
③ 支店で本店の広告料 ¥40,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。

4

九州商店の6月/4日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

6月/4日 唐津商店に商品 ¥130,000 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 ¥50,000 を差し引き、残額は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		売上伝票	
前受金	150,000	買掛金	124,000	博多商店	285,000
売掛金	288,000	当座預金	382,000	久留米商店	178,000
受取手数料	19,000	買掛金	69,000	有田商店	132,000
売掛金	203,000	消耗品費	18,000	筑後商店(値引)	26,000
() ()		() ()		島原商店	207,000
				() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
受取手形	257,000	売掛金	257,000	延岡商店	348,000
買掛金	249,000	支払手形	249,000	別府商店(戻し)	35,000
買掛金	140,000	当座預金	140,000	国見商店	161,000
当座預金	8,000	受取手数料	8,000	阿蘇商店	98,000
() ()		() ()		霧島商店	290,000
				() ()	

5

四国商店(個人企業 決算年/回 12月31日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。

- 付記事項の仕訳を示しなさい。
- 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- 総勘定元帳の損益勘定に必要な記入をおこないなさい。
- 貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥1,706,000	当座預金	¥4,660,000	受取手形	¥1,700,000
売掛金	3,900,000	貸倒引当金	34,000	有価証券	1,620,000
繰越商品	1,220,000	備品	3,200,000	備品減価償却累計額	1,280,000
支払手形	2,000,000	買掛金	2,390,000	従業員預り金	370,000
資本金	10,400,000	売上	18,000,000	受取手数料	46,000
仕入	12,860,000	給料	2,672,000	支払家賃	660,000
保険料	224,000	消耗品費	54,000	雑費	44,000

付記事項

- ① 売買目的で松山物産株式会社の株式10株を1株につき ¥45,000 で買い入れ、代金は買入手数料 ¥10,000 とともに小切手を振り出して支払っていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 ¥1,310,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ3%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
- 備品減価償却高 取得原価 ¥3,200,000 残存価額は零(0) 耐用年数は5年とし、定額法による。
- 有価証券評価高 売買を目的として保有する次の株式について、時価によって評価する。

阿波商事株式会社	30株	帳簿価額	@¥54,000	時価	@¥58,000
松山物産株式会社	10株	帳簿価額	〃 ¥46,000	時価	〃 ¥46,000
- 消耗品未使用高 ¥14,000
- 保険料前払高 保険料のうち ¥84,000 は、本年11月からの6か月分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 家賃未払高 ¥60,000

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2	総勘定元帳
□	当座預金 2
0	1/1 前期繰越 980,000
0	
	支払手形 12
	1/1 前期繰越 850,000
	買掛金 13
	1/1 前期繰越 720,000
	仕入 27
	買掛金元帳
	高知商店 1
	1/1 前月繰越 350,000
	香川商店 2
	1/1 前月繰越 240,000

3	(1)	a	売上高	〃	b	期首の買掛金	〃		
	(2)	a	支店勘定残高と 本店勘定残高の 一致額	〃	b	本支店合併の 期末商品棚卸高	〃	c	本支店合併の 当期純利益

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の1得点

仕 訳 集 計 表

平成○年6月/4日

借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形 金		
		売 掛 金		
		支 払 手 形 金		
		買 掛 金		
		前 受 金		
		売 上		
		受 取 手 数 料		
		仕 入		
		消 耗 品 費		

5

(1)

	借 方	貸 方
①		

(2)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

	借 方	貸 方
d		
e		
f		
g		

(3)

総 勘 定 元 帳
損 益

28

12/31 仕 入	12/31 売 上
〃 給 料	〃 受取手数料
〃 ()	〃 ()
〃 ()	
〃 支 払 家 賃	
〃 保 険 料	
〃 消 耗 品 費	
〃 雑 費	
〃 ()	

(4)

貸 借 対 照 表

平成○年/2月3/日

四国商店

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		従業員預り金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
有 価 証 券			
商 品			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

試 験 場 校

受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借 方	貸 方
a	当座預金 1,126,000 仕入 840,000	(積送品)売上 1,126,000 積送品 840,000
b	未着商品(または未着品) 2,000,000	支払手形 1,600,000 買掛金 400,000
c	仕入 49,000	支店 49,000
d	現金 708,000	不渡手形 703,000 受取利息 5,000
e	損益 1,740,000	繰越利益剰余金 1,740,000
f	社債利息 600,000	当座預金 600,000
g	法人税等 1,510,000	仮払法人税等 680,000 未払法人税等 830,000

2

平成 〇年	勘定科目	仕 入 帳	要 要	買 掛 金	諸 口
		前ページから		572,000	356,000
/ / 7	当座預金	香川商店	小切手	✓	325,000
	買掛金		掛 け	買 2	150,000
		C品 500個 @¥950			
20	買掛金	高知商店	掛 け	買 1	420,000
		A品 600個 @¥700			
21	買掛金	高知商店	掛け値引き	買 1	5,000
		A品 100個 @¥50			
26	支払手形	徳島商店	約 手	12	152,000
		B品 380個 @¥400			
				1,142,000	833,000
31				13	1,142,000
〃			総仕入高	27	1,975,000
〃			仕入値引高	13/27	5,000
			純仕入高		1,970,000

総勘定元帳

当 座 預 金	2
1/1 前期繰越	980,000
支 払 手 形	12
1/1 前期繰越	850,000
26	152,000
買 掛 金	13
1/31	5,000
1/1 前期繰越	720,000
31	1,142,000
仕 入	27
1/31	1,975,000
1/31	5,000
買 掛 金 元 帳	
高 知 商 店	1
1/21	5,000
1/1 前月繰越	350,000
20	420,000
香 川 商 店	2
1/1 前月繰越	240,000
17	150,000

3

(1)	a	売 上 高	¥ 4,380,000	b	期首の買掛金	¥ 1,580,000
(2)	a	支店勘定残高と 本店勘定残高の 一致 額	¥ 810,000	b	本支店合併の 期末商品棚卸高	¥ 1,202,000
	c	本支店合併の 当期純利益	¥ 562,000			

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年6月/4日

借 方	円	勘 定 科 目	円	貸 方
660,000		現 金		593,000
390,000		当 座 預 金		140,000
257,000		受 取 手 形		
932,000		売 掛 金		824,000
		支 払 手 形		249,000
617,000		買 掛 金		897,000
50,000		前 受 金		150,000
26,000		売 上		932,000
		受 取 手 数 料		27,000
897,000		仕 入		35,000
18,000		消 耗 品 費		
3,847,000				3,847,000

5

(1)

借 方	貸 方
① 有 価 証 券 460,000	当 座 預 金 460,000

(2)

借 方	貸 方
a 仕 入 1,220,000	繰 越 商 品 1,220,000
繰 越 商 品 1,310,000	仕 入 1,310,000
b 貸 倒 償 却 134,000	貸 倒 引 当 金 134,000
c 減 価 償 却 費 640,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 640,000

借 方	貸 方
d 有 価 証 券 120,000	有 価 証 券 評 価 益 120,000
e 消 耗 品 14,000	消 耗 品 費 14,000
f 前 払 保 険 料 56,000	保 険 料 56,000
g 支 払 家 賃 60,000	未 払 家 賃 60,000

(3)

総 勘 定 元 帳

損	益	28
12/31 仕 入 12,770,000	12/31 売 上 18,000,000	
〃 給 料 2,672,000	〃 受 取 手 数 料 46,000	
〃 (貸 倒 償 却) 134,000	〃 (有 価 証 券 評 価 益) 120,000	
〃 (減 価 償 却 費) 640,000		
〃 支 払 家 賃 720,000		
〃 保 険 料 168,000		
〃 消 耗 品 費 40,000		
〃 雑 費 44,000		
〃 (資 本 金) 978,000		
18,166,000	18,166,000	

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)

(4)

貸 借 対 照 表

平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	1,706,000	支 払 手 形	2,000,000
当 座 預 金	4,200,000	買 掛 金	2,390,000
受 取 手 形 (1,700,000)		従 業 員 預 り 金	370,000
貸 倒 引 当 金 (51,000)	1,649,000	(未 払 家 賃)	60,000
売 掛 金 (3,900,000)		資 本 金	10,400,000
貸 倒 引 当 金 (117,000)	3,783,000	(当 期 純 利 益)	978,000
有 価 証 券	2,200,000		
商 品	1,310,000		
(消 耗 品)	14,000		
(前 払 保 険 料)	56,000		
備 品 (3,200,000)			
減 価 償 却 累 計 額 (1,920,000)	1,280,000		
	16,198,000		16,198,000